

# ぷらっと通信

Vo.1

発行：平成18年2月10日  
ぷらっと通信事務局（練原・横山）  
小平市小川町1-17-1（小平二中内）  
TEL042-341-8687

## 「子育てにみんなの知恵を出し合えたら・・・」

との思いで、地域で子育てを考える活動が始まりました。

その活動の1つ「学校を休みがちな子どものこれからについて考える親の会」をご紹介しますのが「ぷらっと通信」です。

この活動は「地域教育連携推進事業」の援助を受けています。  
この活動について  
小平二中の小松校長がご説明します。

それって何？

子どもも大人もいきいきできるには・・・  
肩の力を抜いて、今の自分にできることは・・・  
いっしょに考えてみませんか？

小平二中では「地域教育連携推進事業」に取り組んでいます。地域教育プラットフォームとも呼んでいます。東京都教育委員会及び小平市教育委員会の支援のもとに行っています。これは、地域にある教育資源を互いに結びつけ、より質の高い教育を創り出そうという取り組みです。

地域にある教育資源とは教育に活用できるものなら全て対象になります。例えば今考えられているものに、大学、社会福祉関係団体、児童福祉関係団体、青少年団体などがあります。

これらの組織や人が互いに結びつき、子どもの教育に関する課題にしっかりと向き合っていくことができるようになることを目指しております。地域の中にしっかりした結びつきができれば、このことも実現できます。

まずは、学校が中心となりますがネットワーク的な「地域の人や組織の結びつき」に発展してゆくよう願っています。

小平第二中学校校長 小松信也

## 「学校を休みがちな子の進路について考える親の会」 を開きました

昨年12月10日(土)、10:00~12:20  
小平第二中学校カウンセリングルームにて  
13名の参加でした

この時期に特に気になる受験や卒業後の進路について、まず先輩保護者の方から体験談を聞き、その後参加者のおしゃべり・情報交換をしました。受験、卒業、その後定時制高校や専修学校、サポート校に通うお子さんの様子をお聞きしていると、それぞれのご家庭での試行錯誤、お子さんの成長が実感できますね。子どもが学校へ行かなくなってきたからの状況は、一人一人違いながらも似たところもあり、その時々親の悩みや気持ちに共感が寄せられました。

保護者の方が昨年集め寄付して下さったたくさんの方の学校情報資料を、皆さん熱心にご覧になりながら、それぞれが見聞きした生情報を交換していました。うれしいことに後日、今年度の新たな資料の寄付もいただいたんです。ご覧になりたい方は、ぜひご利用ください。二中カウンセリングルームにおいてあります。

「おたくの〇〇ちゃんもそうだったの？」と知り合いが同じような状況にいることを初めて知ったかたもいて、閉会後もおしゃべりが続きました。

## ご参加ください！

### 「学校を休みがちな子のこれから

### について考える親の会」

#### 開催のお知らせ

平成18年3月18日(土) 10:00~12:00  
小平市立小平第二中学校 カウンセリングルームにて  
ゲストは経験者のお母さん「虹の会」代表 番場典子さん

今回は、新学期を迎えるにあたって、学校との連絡をどうしたらよいか、卒業後はどうなる？などについて、経験者のお母さんをお迎えして一緒におしゃべりしたいとおもいます。

日頃の思いを出し合って、それぞれがお持ちの情報を交換し合ひましょう。

どなたでも参加できます。事前連絡は要りません。

連絡・問い合わせは

篠原麻里（小平二中卒業生保護者）

(TEL&FAX) 345-8535

横山典子（小平コスクールカウンセラー）

カウンセリングルーム専用電話（留守番電話） 341-8687

あらっこの本棚

子どもの気持ちの理解や、親の学びに役立つ本をご紹介します。皆さんのお薦めの本も教えてください。



「Q&A こころの子育て  
誕生から思春期までの48章」

河合 隼雄 朝日新聞社

「子どもの宇宙」

「子どもと学校」

河合隼雄 岩波新書

ユング心理学の心理療法家として、悩める人の味方の河合先生の本は、とても大事なことが書いてあるのに、ユーモアがあつてほっと肩の力が抜けます。例えば、こんな珍問答(?)も…。

『Q3:子どもをちゃんと育てていけるかしらといつも不安です』

『A:どうい子育てがいいのか、ぼくにもようわかりません』

『Q26:子どもが学校へ行きません。どうしたものでしょうか』

『A:せっかくだ行かないのだから、「チャンス」と思ってください』

### ある不登校娘のドクキャンの歴史(小学校篇) 篠原 麻里

長女が学校へ行かなくなったのは、小学校1年生の12月。とりあえず2学期は休ませようと思ったが、結局それから3月まで「冬ごもり」し、春になっても行かずじまい。それから中学卒業まで、長女はしっかり「不登校」を続け、数々のドクキャンをやらかしてくれた。

「明日はがんばる」というのが、小学校3年生頃の彼女の常套手段。「明日はがんばるから、今日は休む」という理屈だ。次の日になっても同じことを言う。それがわかっているが、親としては心のどこかで期待して、「じゃあ、明日はがんばろうね」と先送りにする。

心の半分以上は「明日も行かないだろう、それでも仕方ない」と思っているが、どこか隅の方で「今日休むことを許せば、明日は行くのでは」というわずかな期待がある。それを毎日繰り返すうちに、「やっぱり行けないんだな」と、だんだん諦めの気分になってくる。と同時に、毎日裏切られ続けているので、心の底に子どもに対する憎しみもたまってくる。それを自覚しつつ、仕返しをしないで許し続けるのは、まさに「修業」。

その後4年生頃から長女は「今日は2時間目から行く」と言うようになった。小学校は子どもの安全確保のため、遅刻早退は保護者の送り迎えが必要だ。「今日は2時間目から行く。給食は食べないで帰る」と言えば、2時間目の始業に間に合うように送って行き、4時間目が終わる頃迎えに行った。日によっては珍しく給食を食べて5時間目までいられたり、かと思えば3時間目の45分間だけで帰ったり。同級生はさぞ「変なヤツ」と思っただろうが、そのうち「あいつはそういうヤツ」と認知してくれるようになったようだ。長女の不規則でわがままな登校を認めてくれて、本当に感謝している。学期の初めは週に3、4日登校し、それがだんだん減って行き、いつの間にか全く行かなくなる、というパターンで、4年、5年と同じようだった。

「行ける時もある」とわかると、親としてはつい欲が出る。遠足や社会科見学など行事があると、みんなと楽しく過ごして欲しい、と思ってしまう。それでついつい子どもにじわつと圧力をかけて、「行く」と言うように仕向けてしまうようだ。その結果どうなるかというと、当日の朝の「ドクキャン」だ。

4年生の社会科見学の時だったか、前の日長女が「行く」と言ったので、お弁当を作った。けれども、朝起こすと機嫌が悪い。「がんばって行こう」「行かない」「今日はお勉強ないし、楽しいよ」「楽しくない」「お弁当、好きなものばかりだよ」「いやない」「昨日、行かって言ったじゃない」「……」と押し問答の末、結局学校に欠席の電話をする時の溜めなげさ。

頭の冷静な部分では、「この子は本当は行きたくなかったのを、わたしが無理強いしたんだ」とわかっているのに、朝早く起きていそいそお弁当を作ってしまったわたしは悔しくてたまらず、かといって長女にあたるわけにもいかず、きれいに詰めたお弁当の中身を、シンクに思い切りぶちまけてしまった。片づけながら涙が出た。

その後、わたしは「期待しない」ことにした。子どもが親の希望通りになることを期待しない。いや、しないように意識した。でもやはり、「行ってくれるといいな」と思うので、当日その気になったら行けるように用意はする。「行って欲しいと思っている」という親の気持ちは伝える。お弁当も作る。でも行かなければ仕方ない。お弁当はお昼に子どもと食べればいいや、と思うことにする。と、書くのは簡単だが、これがなかなか難しい。やっぱり修業だ。

本人が「行きたい」と言ったのに、当日になったら「行けない」というパターンもあった。「行かない」と言っていたのが、前日になって「行く」と言いだし、当日の朝「やっぱり行かない」というパターンもあった。わたしは懲りもせず、何度も同じような失敗を繰り返した。諦めたつもりで、つい期待して無言で圧力をかけ、ドクキャンされて怒り、思い直して反省した。あの手この手で親を鍛えてくれる子どものお陰で、ようやく「待つ」ことを学んだような気がする。

6年生では、小学校最大のイベント「移動教室」がある。長女はあまり乗り気ではない様子だったが、「お母さんがしたいから準備するけど、行きたくなかったら行かなくてもいいから」と言って、持ち物などの用意をした。と言って、あれこれ買いそろえたのに本当に行かなかったら悔しいから、持っているものはそれを使い、「ゴム長靴」だけ買った。そのうち、同室になる子が仲の良い友達ばかりとわかり、長女はだんだん行く気になってきたが、わたしはまだ半分以上は「結局は行かないだろう」と思っていた。本当は期待したいが、無邪気に期待してもまた裏切られるのがオチだと、自分に言いかかせていた。当日は5時起きでお弁当を作ったが、お昼と一緒に食べられるように自分の分も作った。長女がちゃんと起きてきた時には正直驚いた。バスの窓に友達と並んで手を振る長女を、他のお母さん達と一緒に見送った後もまだ信じられない気持ちだった。(うっそー！本当に行っちゃったよ！)

移動教室の後、長女はまた2学期のほとんど学校を休んだが、3学期はほとんど普通に登校し卒業式も出席した。卒業式に出られたのは夢のようだった。

「子育てにみんなの知恵を出し合えたら・・・」との思いで、地域で子育てを支えあう活動が始まりました。「学校を休みがちなお子さんのこれからについて考える親の会」をご紹介しますのが『ぷらっと通信』です。

## ぷらっと親の会

(学校を休みがちなお子さんのこれからについて考える親の会)



開催のお知らせ



日時：平成27年1月20日(火)

時間：午後3時～5時

場所：小平第二中学校 カウンセリングルーム (南校舎1階)

暮れも押し迫って参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

お子さんが登校を嫌がったり休みが続いたりすると戸惑われることが多いのではないのでしょうか。

ぷらっと親の会は、二中スクールカウンセラーの師井先生と一緒に親同士の情報交換や、先輩保護者の経験談などを安心して話したり、聞いてもらえたりする場所を大切に考えています。もちろん聞くだけでも結構です。

ほっと一息、一緒におしゃべりしませんか？

※学校を休みがちなお子さんをお持ちの方は、どなたでも参加できます。事前連絡は要りません。

★参加をお待ちしています。

### 開催の案内をメールでお知らせします。

下記のアドレスに『ぷらっと親の会、案内希望』と件名を入れて、メールを送っていただければ、以降ご案内します。そのとき、できれば親御さんのお名前とお子さんの学年もお知らせください。

小平二中メールアドレス

[gakkou@32.kodaira.ed.jp](mailto:gakkou@32.kodaira.ed.jp)

### ぷらっと親の会の紹介

現在、二中スクールカウンセラーの先生を中心に4名で1学期に1回、開催している、親のためのしゃべり場です。

親がほっとできる場所、元気になれる場所にしたいと思っています。

進路が決まった方は体験談を是非、話してください。高校の雰囲気など情報を教えてください。

連絡・問い合わせは、手紙かファックスでお願いします。

住所：小平市小川東町1-17-1 (小平二中内)

FAX:042-341-1962

徳原麻里(小平二中卒業生保護者)

師井和子(二中スクールカウンセラー)

### ぷらっとの本棚 (お薦めの本のご紹介)

『教師・親のための子ども相談機関利用ガイド』

小林正幸編 ぎょうせい 2012年

第1部は、「こころ」「からだ」「学校不適応」「非行」「障害」「学校・家庭の問題」という症状・問題ごとに「どんなことが考えられる?」「こう対応しよう!」「どこに相談する?」について。

第2部は、「相談機関に行ってみよう」。機関ごとに「どんな相談を受け付けている?」「誰が相談してくれる?」「実際の現場の様子?」「家庭との連携は?」など特色を紹介。

第3部は、全国相談機関一覧。児童相談所からハローワーク、ジョブカフェ、弁護士会、少年鑑別所なども。「知ること」「つながること」は、とても大事だと思います。

(M・S)

保護者の皆様

平成16年8月16日

小平第二中学校スクールカウンセラー

横山典子

### 一緒におしゃべりしませんか

#### 「学校を休みがちな子について語り合う親の会」開催のお知らせ

今年は例年にない曇りでしたが、いかがお過ごしでしょうか。

このたびは標記のようなおしゃべりの会を開きますので、ご案内申し上げます。

我が子が登校に抵抗を感じ、欠席日数が重なってきますと、親としていろいろな思いを抱かれることと思います。親としての接し方、学校との葛藤、進路のこと、将来のこと、等々、迷うことや知りたいことがたくさんあるのに、欲しい情報が簡単に手に入らないのが、現状ではないでしょうか。

日頃の思いを出し合って、それぞれがお持ちの情報を交換し合う会を、下記のとおり開こうと思います。是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、この会は保護者の方とスクールカウンセラーが、気軽に語り合う会ですので、小平第二中学校の保護者の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

#### 記

- 1, 日時 平成16年9月4日(土) 午前10時～12時
- 2, 場所 小平第二中学校 カウンセリングルーム  
(玄関を入り、事務室の隣が校長室、その隣がカウンセリングルーム)
- 3, 参加費 無料
- 4, 持ち物 上履き
- 5, 事前申し込みの必要はございません。お気軽にご参加ください

以上

このお知らせは、おおむね10日以上欠席のお子さんをお持ちの保護者の方にお送りしました。

連絡・問い合わせは

小平二中カウンセリングルーム専用電話(留守番電話) 341-8687

篠原麻里(3年A組保護者) (TEL&FAX) 345-8535